

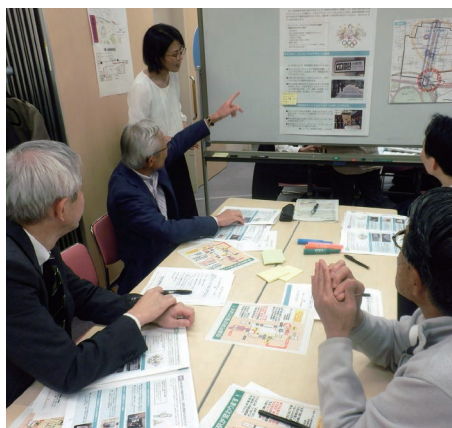


信濃町駅周辺地区 まちづくり構想



～まちづくり構想の位置づけ～

本構想は、地元住民等が中心となり、平成 28 年 8 月に設立された「信濃町駅周辺地区まちづくり協議会」で検討してきたものです。今後、関係行政機関等と調整を図り、構想の実現に向けた取り組みを進めていきます。



平成 30 年 6 月
信濃町駅周辺地区まちづくり協議会

はじめに

信濃町駅周辺地区は、東京 2020 オリンピック・パラリンピック開催時に、新国立競技場の玄関口として、世界各国からの来訪者の増加が見込まれており、さらなる発展を目指す時期にさしかかってきています。オリンピック・パラリンピック開催時及びその後を見据えながら、まちの賑わい創出や文化発信、観光促進、住民が自慢できるまちづくり等、総合的なまちづくりに取り組む必要があります。

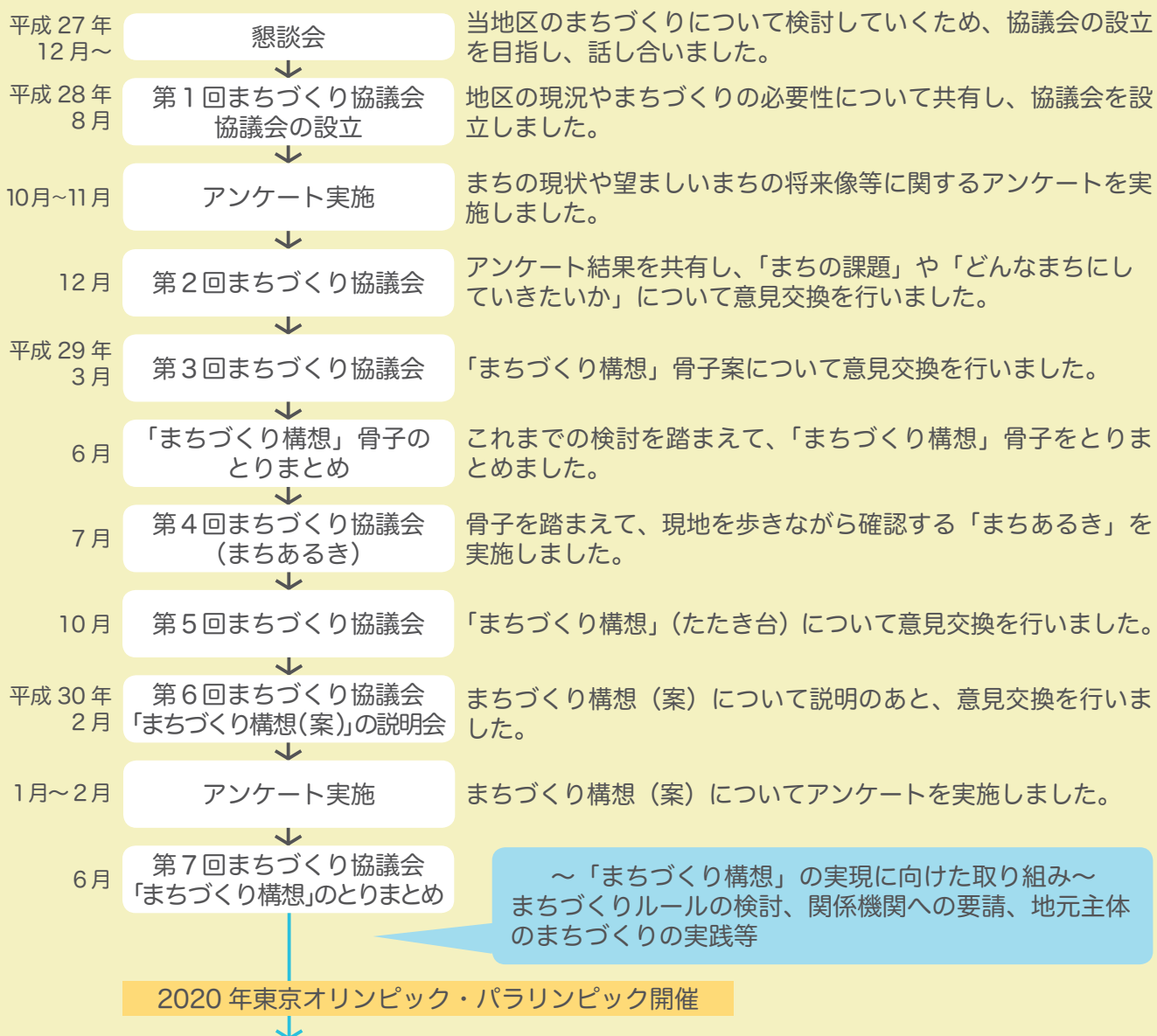
当地区では平成 27 年 12 月からまちづくりの懇談会を計 3 回開催し、平成 28 年 8 月に「信濃町駅周辺地区まちづくり協議会」を設立し、その後、地区の特性や課題、取り組むべきこと等の検討を行ってきました。

今回、中長期的視点に立ち、当地区にふさわしいまちづくりを推進していくため、「信濃町駅周辺地区まちづくり構想」を策定しました。



協議会の様子

これまでの経緯



地区の現況と課題

まちあるきで発見した地区の様子

協議会でまちあるきを行い、地区の現況や課題について話し合いました。



まちあるきでは、実際にまちを歩きながら、課題や取り組むと良いアイデア等を出していきました。



まちあるきの様子

* 信濃町駅周辺地区は、新宿区の南端にあり、住所表記「信濃町」とJR信濃町駅南側の歩道橋を含む約19.3haの区域です。

地区の現況と特徴

信濃町駅周辺地区は、以下のような特徴があります。

● 地区の玄関口である信濃町駅

地区南端に位置する信濃町駅は、地域を代表する施設です。一日平均約5万人が利用する、まちの拠点となっています。

1894年に開業し、1993年に現在の駅ビルが完成しました。



信濃町駅

● 地区を縦断する外苑東通り

幅員約27mの幹線道路である外苑東通りが地区の中央を南北方向に走っています。沿道を中心に中高層のビルが多く建ち並び、歩道に面して商店が展開しています。地区の骨格となる重要な通りです。



外苑東通り

● 谷のある地形

地区東部や駅周辺は、土地の起伏が激しく、坂が多くあります。信濃町を含む四谷エリアは武蔵野台地の東端に位置し、小さな谷が刻まれている地形となっています。



地区周辺の地形

● 落ち着いた住宅地

地区の北側には、閑静な住宅地が広がっています。低層の木造建築物が多く、鉢植え等の植栽が見られます。

また、狭い道路や行き止まり道路も散見されます。



地区内の住宅地

● 大規模な敷地

地区の南西部には、慶應義塾大学病院があります。外来患者数は一日平均約3,000人で、国内でも最大級の規模です。

南東部には、創価学会の関連施設が立地しています。広宣流布大誓堂周辺は建物がセットバックして広い歩道が整備されています。



慶應義塾大学病院

● 豊富な文化施設や歴史

文学座のアトリエや民音音楽博物館等の多様な文化施設があります。

また、地区およびその周辺には、犬養毅や池田勇人等の著名人が住んでいました。



文学座アトリエ

● 周辺の豊かな環境

JR線を隔てて南側には明治神宮外苑が広がり、みどり豊かな環境が形成されています。

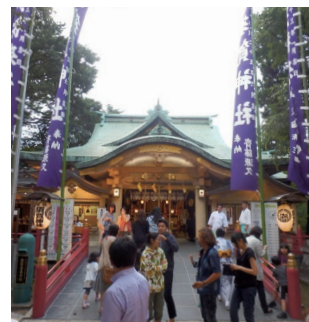
北側に隣接する須賀町や左門町には寺社が多く、四谷の総鎮守である須賀神社があります。



神宮外苑



聖徳記念絵画館



須賀神社

地区の課題

これまでの協議会で出されたご意見等をまとめると、信濃町駅周辺地区には以下のような課題がありました。

1 駅前の空間づくり

- 人がたまるような場所がなく、にぎわいに欠ける
- 駅前のシンボルがない
- 魅力的な商業施設が少ない
- 歩行者動線がわかりにくく使いづらい



信濃町駅前

2 外苑東通りのにぎわい再生・景観整備

- 景観が単調で美しい
- 植栽帯のポイ捨てが汚い
- 集客力のある魅力的な商業施設が少ない
- 夜暗くにぎわいが少ない
- 自転車の通行が多く危ない



外苑東通り沿道の植栽帯

3 住み続けられる環境づくり

- 狭い道の車通りが多く危ない
- 物販店や飲食店が少なく不便である
- 住民が減少、子ども・若者が少ない
- 住民が高齢化している
- 住民同士がコミュニケーションをとれる場がない



車通りが多い道

4 オリンピック・パラリンピックへ向けて

- 多言語対応が必要である
- 駅と新国立競技場をつなぐ歩行者動線が不便である
- 交通等の混乱や事故が懸念される
- 治安の悪化や騒音が懸念される
- 多くの来訪者を受け入れる準備が必要である



工事中の新国立競技場

5 文化施設や歴史の活用・観光施策

- 文化施設がどこにあるのかわからない
- 地区の歴史が知られていない
- 集客力のある観光拠点が少ない



「歴史と文化の散歩道」の案内板

まちの将来像とまちづくりの方針

地区の特徴や課題を踏まえて、信濃町駅周辺地区のまちの将来像として、「みんなで育む信濃町～未来をつくる5つの方針～」を掲げます。まちの将来像の実現に向けて、まちに関わる人々が協力し合い、5つのまちづくりの方針に取り組んでいきます。

まちの将来像

みんなで育む信濃町
～未来をつくる5つの方針～

まちづくりの方針

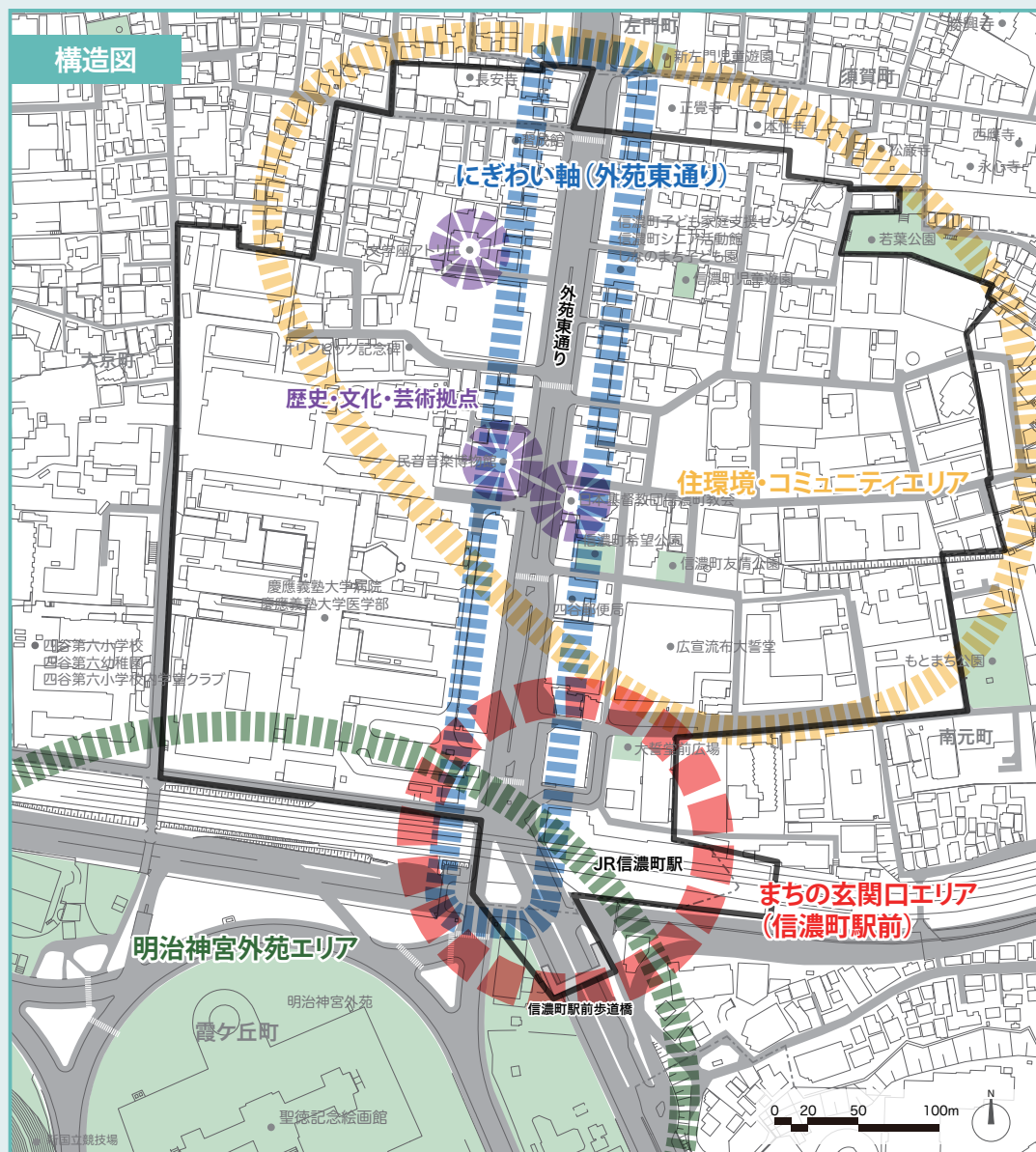
方針1 まちの玄関口にふさわしい駅前空間づくり

方針2 多くの来訪者を呼び込む外苑東通り沿道のにぎわいづくり

方針3 良好な住環境と人情のある地域コミュニティづくり

方針4 東京 2020 オリンピック・パラリンピックに向けたまちづくり

方針5 まちの豊かな歴史や文化、芸術を発信するまちづくり



方針1 まちの玄関口にふさわしい駅前空間づくり

信濃町駅は1日平均約5万人が利用する地区内外を繋ぐ重要な地区の拠点です。現在は、病院や競技場への来訪者、住民等、多様な人々が駅を利用しています。さらに、東京2020オリンピック・パラリンピック時には、新国立競技場へ向かう最寄駅のひとつとして、世界各国からの来訪者が見込まれます。まちの玄関口として、たくさんの来訪者を迎えるにふさわしい魅力ある駅前空間をつくります。

駅前空間に関する課題（協議会で出されたご意見）

- | | |
|----------------------------------|--------------------------------------|
| <input type="radio"/> にぎわいがいい | <input type="radio"/> くつろげるスペースがない |
| <input type="radio"/> たまり場がない | <input type="radio"/> 駅前広場やロータリーの整備 |
| <input type="radio"/> 商業施設が少ない | <input type="radio"/> 交通動線の改善 |
| <input type="radio"/> 駅前のシンボルがない | <input type="radio"/> 駅を境に南北に行き来しづらい |

取り組み1：駅前の顔づくり ～信濃町らしさをつくる～

（◆については、関係機関に要請していきます）

- 駅周辺や駅ビルへ、気軽に立ち寄れる飲食店や買い物に便利な食品店、話題性のある物販店等の魅力的な店舗の誘致を目指します。
- 駅前を中心とした情報発信を検討します。
- 行ってみたいくなる魅力的なイメージづくりを進めます。
- ◆ 来訪者のたまり場となり、憩える駅前広場の整備、待ち合わせ場所や写真撮影スポットの整備等、駅前空間の再構築を図ります。
- ◆ 人々が交流できる広場の整備、電線地中化等によりうるおいのある美しい景観づくりを進めるとともに、まちの"シンボル"となるような空間をつくります。
- ◆ 多様な来訪者が利用しやすい駅前空間を目指します。（外国人旅行者が利用しやすい多言語表記の案内板設置やWi-Fi整備、明治神宮外苑でランニングやサイクリングを楽しむ人たちが利用しやすいシャワーや更衣室等の整備等）



駅前広場のイメージ

□ 駅前広場の整備事例



高円寺駅北口駅前広場



有楽町駅前広場



大塚駅南口駅前広場



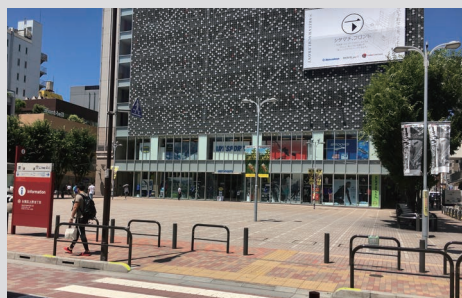
日暮里駅前イベント広場

□ まちづくりの手法例：柔軟な市街地整備（敷地整序型土地区画整理事業）

敷地整序型土地区画整理事業とは、ミニチュア版の区画整理事業のことです。通常、土地区画整理事業で求められるような公共施設（道路や公園、緑地、下水道等）の整備がなくても、土地の有効高度利用を図ることができます。

○御徒町駅南口西区土地区画整理事業

地区内の3本の区道を駅前の民有地と交換し、歩行者駅前広場の一部とした。またその部分と接する民有地とを統合して広場を整備した。区画整理により、地区内の回遊のための歩行者空間が大きく広がったが、従前、従後の公共施設（道路等）の面積は変わらない。



御徒町南口駅前広場

取り組み2：交通動線の整理 ～歩行者の安全・安心な動線確保～

以下の点について、関係機関に要請していきます。

- ◆ 駅周辺の交通動線を整理し、歩行者が快適に道路を横断できるようにします。
- ◆ 駅周辺を見通しに配慮して整備し、南北に行き来しやすい、つながりある空間をつくります。
- ◆ 新国立競技場をはじめ周辺施設と駅を繋ぐ安全・安心な動線を整備します。

(スクランブル交差点化やペDESTリアンデッキの設置、三角地の設えの改善、信濃町駅前歩道橋へのエスカレーター設置、信濃町駅前歩道橋のリニューアル、線路上空の歩行者空間拡幅等)



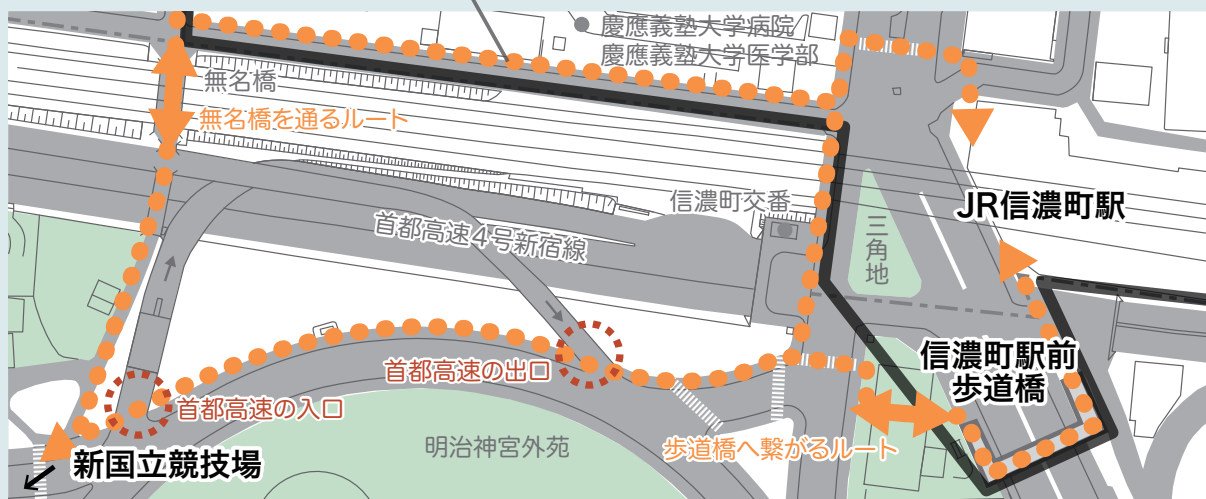
ペDESTリアンデッキ
出典：townphoto.net

慶應義塾大学病院
南側道路整備
(平成30年3月完了)



現況動線の改善点

- 首都高速の出入口の安全確保
- 競技場から駅へ向かう際の歩道橋への案内設置
- 無名橋方面への誘導 など



駅と新国立競技場を繋ぐ現況の動線

取り組み3：国際化への対応 ～多言語表記などのおもてなし～

以下の点について、関係機関に要請していきます。

- ◆ 外国人旅行客の利用に配慮し、標識等への多言語表記を進めます。
- ◆ 地域イメージの向上につながる魅力的なデザインのサインを整備していきます。
- ◆ 地域の多様なスポットへの案内板を設置していきます。



多言語対応のデジタルサイネージ

方針2 多くの来訪者を呼び込む外苑東通り沿道のにぎわいづくり

外苑東通りは、地区を縦断するメイン通りですが、現在にぎわいが不足しています。美しい景観づくりや安全で快適な歩行空間をつくと共に、明治神宮外苑や駅周辺から四谷三丁目方面へ人を呼び込み、多くの来訪者でにぎわう通りをつくります。

外苑東通り沿道の課題（協議会で出されたご意見）

- 夜暗くにぎわいが無い
- 景観が単調で美しい
- 植栽帯のポイ捨てが汚い
- 商業施設が少ない
- 歩行者と自転車の動線の分離
- 放置自転車が多い
- 散歩道としての看板やわかりやすいルート表示の整備
- ベンチの設置



取り組み1：外苑東通りの魅力づくり ～集客力向上をめざす～

- 店先の看板や庇、フラッグなどの色彩や形状を揃え、統一感と一体感のあるまちなみづくりを進めます。
- スタンプラリーの実施や飲食店マップ作成等、来訪者に回遊してもらうための仕掛けを検討します。
- 住民が利用しやすい食品や日用品を販売する店舗、来訪者が気軽に寄れる飲食店等の誘致を目指します。
- 沿道の店舗等は、バリアフリーに配慮します。

□ 商店街の魅力づくりの取り組み事例



デザインが統一された袖看板



商店主が講師となり知識や情報を伝える講座の開催



各店おすすめの逸品を推し進める取り組み

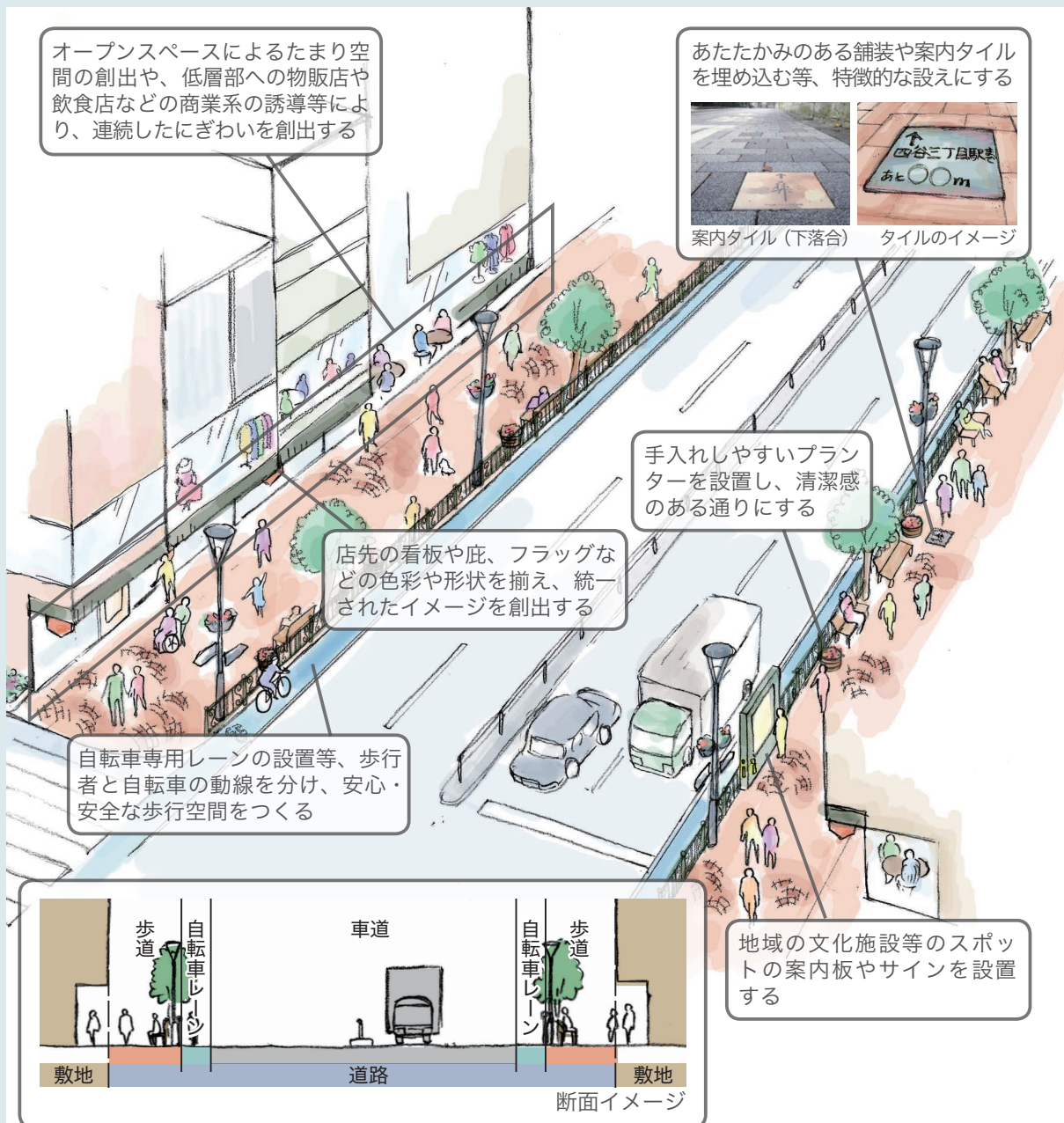


文化芸術イベントの情報の発信やスタンプラリー

取り組み2：快適な歩行空間づくり ～歩きたくなる楽しい通り～

(◆については、関係機関に要請していきます)

- 沿道建物の低層部の用途を物販店や飲食店等の商業系とする等、連続したにぎわいを創出します。また、上層部は住宅を中心とした用途とします。
- 一階部分をセットバックし、オープンスペースを設ける等、たまり空間の創出を目指します。
- ◆植栽帯の改善を検討し、清潔感のある通りを創出します。(植栽帯の撤去、手入れしやすいプランターの設置等)
- ◆自転車専用レーンの設置等、歩行者と自転車の動線を分けることで安心・安全な歩行空間をつくります。
- ◆ベンチや案内板等を設置し、歩きやすい通りをつくります。また、子ども連れも楽しく歩けるような魅力的な空間にします。
- ◆案内板やガードレール、街路灯等のデザインや設えを工夫し、"信濃町らしさ"をアピールしていきます。



外苑東通り沿道の整備イメージ例

□ 通りのにぎわいづくりの事例



整備されたベンチやプランター
(元町商店街 / 横浜市)



1階部分がセットバックした街並み
(元町商店街 / 横浜市)

□ まちづくりの手法例：地区計画（まちづくりのルール）

地区計画は、土地や建物の所有者等の住民の方が主役となって話し合い、地区の実情にあったルールを都市計画として定めるものです。建物や道路、公園等の施設のつくり方をあらかじめ計画し、その実現を図っていくための制度です。

地区計画は、まちの将来像を定める「方針」と、建物の建て方等の具体的なルールを定める「地区整備計画」で構成されます。

地区整備計画において、例えば、建物の用途、建物の規模（建ぺい率、容積率）、建物の高さ、道路や敷地境界からの壁面の後退距離、敷地の面積、建築物や工作物の形態意匠等を定めることができます。



新宿六丁目西北地区地区計画 街並みのイメージ

取り組み3：イベント等の開催 ～にぎわいの創出～

- 町会や商店振興会主体のイベントを開催し、まちのにぎわいをつくります。
- 車両を規制し、歩行者天国によるイベントを今後も継続して開催します。
- イベント開催時には有名店等を誘致し、まちの名物としていきます。
- 外国人の方にも参加してもらえるようにプロモーションしていきます。



四谷大好き祭り 2017 でのマーチングバンド



四谷大好き祭り 2017 でのパフォーマンス

方針3 良好な住環境と人情のある地域コミュニティづくり

地区の北側には住宅地が形成されています。落ち着いた環境で生活しやすい地域ですが、車通りの多い細街路の危険性や防災・防犯面での課題、地域コミュニティの希薄化等への対応が必要です。住民が住み続けたいような、良好な住環境と人情のある地域コミュニティをつくれます。

住環境やコミュニティに関する課題 (協議会で出されたご意見)

- 狭い道の車通りが多い
- 物販店や飲食店が少なく不便
- 家賃が高い
- 子ども・若者が少ない、住民の減少
- 住民の高齢化
- 町会の加入率が低い
- 住民同士がコミュニケーションをとれる場がない
- 老朽化した建物が危険



取り組み1：安全・安心なまちづくり～住み続けられるまち～

- 地区内の公園、住宅地の庭、鉢植え等の植栽を活用し、みどりとうるおいのある地区にしていきます。
- 「信濃町防犯コミュニティ*1」や「あいさつ運動*2」の活動を通して、安心できるまちをつくれます。
- 建替えを促進し、災害に強い建物を増やします。
- ◆防犯・防災上危険な空き家等の老朽化した建物について、所有者に注意を促します。
- ◆防犯カメラを設置する等、防犯対策を講じます。
- ◆無電柱化や道路の拡幅等を進め、歩行者が歩きやすい環境を整備します。

(◆については、関係機関に要請していきます)



みどりが豊かな住宅地

*1 信濃町町会と信濃町商店振興会が中心となり、四谷警察署の指導・協力のもと、地域の防犯強化に向けて検討を行い、平成25年9月に発足した。「青色防犯パトロール」の巡回を行っている。

*2 子どもたちが地域に育まれながら育つよう「あいさつのある安全で安心なまち」を目指す。四谷地区協議会、四谷地区町会連合会、四谷地区青少年育成委員会の共催で実施されている取り組み。

取り組み2：豊かなコミュニティと次世代の育成～担い手づくり～

- 「信濃町地域防災コミュニティ*3」を継続し、有事の際の対応力を高めると共に、コミュニティの強化を図ります。
- 子どもから高齢者まで、世代間交流を促すイベント等を開催します。
- まちの情報発信をする等、協議会活動を活発化させ、地区のまちづくりを推進します。
- ◆誰でも利用できる施設を整備します。

(◆については、関係機関に要請していきます)



信濃町地域防災コミュニティ

*3 信濃町町会、信濃町商店振興会、地区内の事業所などで大震災時の相互協力・共助関係の協定書を結んでいる。四谷消防署、四谷消防団、新宿区と連携し防災訓練を実施している。

方針4 東京2020オリンピック・パラリンピックに向けたまちづくり

多くの来訪者を安全に受け入れることで、国際的な祭典を一層盛り上げ、新国立競技場の玄関口として、まちのブランドイメージを向上させ、信濃町を世界へアピールしていきます。新国立競技場への安全で快適な歩行動線を確保するとともに、競技場への来訪者を地区内へ引き込み、地区内のにぎわい創出を図ります。

オリンピック・パラリンピックに向けた課題 (協議会で出されたご意見)

- 多言語対応
- 駅から新国立競技場への動線がわかりにくい
- 首都高の出入口が危険
- 治安悪化への懸念
- 交通等の混乱や事故への懸念
- 騒音が心配
- オリンピック・パラリンピックを契機に、来街者を増やす取り組みが必要



取り組み1：ユニバーサルデザインの推進

以下の点について、関係機関に要請していきます。

- ◆ユニバーサルデザインを推進します。開催後も使いやすい設えにします。(段差の解消、点字ブロック整備、多言語対応、食のバリアフリー化等)
- ◆外国人旅行客が安心して訪れられるよう、公衆トイレやWi-Fiの整備等を進めます。
- ◆駅から新国立競技場までの安全で快適な歩行動線を確保します。(多言語表記したわかりやすいサインや案内板の設置、カラー舗装、歩道橋へのエレベーター設置、無名橋ルートへの誘導等)



わかりやすいサイン



段差が解消された道

取り組み2：住民参加などによるまち全体での盛り上げの工夫

- 開催に向けた盛り上げを検討します。(カウントダウン時計の設置、定期的なイベント開催、モニュメントの設置、オリジナルキャラクター考案、信濃町のお土産紹介、楽器演奏による応援、街路灯やビル外装のオリンピックカラー化等)
- 多言語対応した地域共通の「まちの案内マニュアル」をつくります。
- 防犯対策を過去の会場から学び、まちとして安全・安心な開催を目指します。
- ◆住民等がオリンピック・パラリンピックにボランティアとして携われるように働きかけます。

(◆については、関係機関に要請していきます)



信濃町駅デイカウンター設置記念式典
(平成30年3月3日)

方針5 まちの豊かな歴史や文化、芸術を発信するまちづくり

地区内には、文学座や民音音楽博物館、信濃町教会等の施設や、著名な人物が住んでいた歴史等があります。まちの歴史や文化、芸術を育てていくために、情報発信や文化資源を活用した取り組みを行います。

地区の歴史や文化・芸術に関する課題 (協議会で出されたご意見)

- 地区の歴史や文化・芸術があまり知られていない
- 主要なスポットがどこにあるのかわからない
- 案内看板の設置や施設のPRが必要



取り組み1：文化的施設など地域資源の再確認・再発見

- 民音音楽博物館や文学座、個性のある店舗等、既存施設の魅力を再確認・再発見します。(まちあるきツアーの開催等)
- 既存施設を含め、地域の歴史や文化・芸術資源を整理します。
- 絵画や音楽、演劇など、文化・芸術の新たな創作を育む環境をつくれます。



協議会で開催したまちあるき

取り組み2：地域資源の活用と発信

- 地域の資源やスポット、周辺の寺町等を地区内外へアピールしていきます。
- 手に取りたくなるイラストマップや、まちの歴史冊子等、魅力を発信するためのツールを作ります。
- インターネットや駅での情報発信、イベント開催等に取り組みます。
- 地区内施設で開催されている催し等がわかる新たな掲示板の設置、多言語表記の名所立て札や案内板の設置等を検討します。
- 外国人向けの情報発信についても検討します。



名所を紹介する案内板

「まちづくり構想」の策定にあたって



協議会役員からのコメント

オリンピック・パラリンピック開催にあたり、JR 信濃町駅が国立競技場の玄関口にあたります。毎日緊張感を覚えながら、町づくりにあたっています。国や都、区の方針、JR 各社の決定が不可欠です。我々が考えた提案も聞いていただいております。

信濃町は、歴史の町、景観がすばらしい町、神宮の杜です。既設の建築類、土地柄を見ますと、このような場所はありません。自慢できる文化の発信ができるのです。現在の施設で、信濃町にふさわしいやり方で懸命にやっております。提案等も受け入れていただきました。現在進行中です。地域の方々と共に、声を大にして町づくりに専念しておる現在です。

4～5年前までの信濃町は児童が少なく、また商店が年々減ってきていました。ところが、昨年ぐらいから、小学校で1学年1クラスだったのが、今年は3クラスにもなり、児童が増えています。是非とも魅力ある町にしていきたいです。



作成にあたりご協力いただいた皆さま、本当にありがとうございました。街路樹の整備など、できることから少しずつ取り組むことが、きれいなまちづくりにつながっていきます。この構想を基に、引き続き頑張りたいと思いますので、よろしくお願いします。

オリンピック・パラリンピックでは国内外から注目されるでしょう。その為、清潔感のある活気あふれる“町づくり”を目指して話し合いました。特にパラリンピックを見据えてでは、その後のやさしい信濃町へと結びつくと思われま。

信濃町は、現代と歴史・文化芸術・盆踊り等の年中行事、など色とりどりの魅力のある町です。2020 オリパラ頃には日本中・世界中の人々が行き交います。訪れる人々の心がなごむ都会の一角、そして住む人にもうれしい町にしていきたいです。

地元町会・商店会、企業・団体と新宿区が一体となり考えた「まちづくり構想」が形となり、嬉しく思います。信濃町がより良いまちへ発展することを願い、これからもご近隣の皆様とともに協力しあい、未来に向かってすすんでまいりたいと存じます。

町づくり？本当にこの町の環境は変わるのか？との疑問を持っていました。何回かの議論を重ねていく内に、動かなければ変わらないと気づきました。歴史ある信濃町に多くの方が訪れるように、少しでも理想に近づけられるようお願いしつつ、皆さんと共に考えながら携わっていきたくと思っています。

